

グリーンローン 年次レポート(2023 年度)

1. 資金充当状況レポート(2024 年 3 月末時点)

2022 年 10 月 5 日にグリーンローンにより調達しました資金を下表のとおり全額充当完了いたしました。

単位:百万円

調達額	2022 年度充当額	2023 年度充当額	充当額合計	期末未充当残高
4,500	4,452	48	4,500	0

適格事業区分	2022 年度 資金充当額	2023 年度 資金充当額	累計 資金充当額
サーキュラーファクトリープロジェクト(守山工場)	4,175	48	4,223
グリーンビルディング	277	0	277
充当額合計	4,452	48	4,500

※充当額のうち 2,683 百万円は新規ファイナンス、1,817 百万円はリファイナンスに充当しました。

2. インパクトレポート

(1) サーキュラーファクトリープロジェクト(守山工場)



※建物の概要については以下をご覧ください。

<https://www.gunze.co.jp/corporate/news/2023/04/20230412001.html>

※サーキュラーファクトリーの具体的な取り組みについては以下をご覧ください。

<https://www.gunze.co.jp/plastic/circular/>

a. 廃棄物の発生削減量(%)

対ベンチマーク(2020年度実績): 2023年度 50.5%削減 <ご参考>2022年度 32.4%削減

b. CO₂排出削減量(t CO₂/年)

対ベンチマーク(2020年度実績): 2023年度 2,933t CO₂削減 <ご参考>2022年度 1,797tCO₂削減

※CO₂排出削減量 算定方法の詳細

【前提条件】

- ・太陽光発電量は1,182,565kWh
- ・地下水循環利用によるCO₂排出削減量は本生産を開始した2024年3月から0.5か月相当分とする
- ・2023年4月～2024年3月の対ベンチマーク(2020年4月～2021年3月)廃棄削減量実績:514.3t/年
- ・2023年4月～2024年3月の対ベンチマーク(2020年4月～2021年3月)購入削減量実績:514.3t/年
- ・再生原料化工程の電力単位:207.3 kWh、能力:0.15 t/h

【諸元】

- ・電力のCO₂排出係数:0.000434 t CO₂/kWh(電気事業者別排出係数 関西電力 調整後排出係数)
- ・廃棄(焼却)のCO₂排出原単位:IDEAv2.3より引用
- ・購入原材料のCO₂排出原単位:IDEAv2.3より引用

【算定式】

①太陽光発電

- ・CO₂排出削減量(t CO₂/年)=発電量(kWh/年)×電力CO₂排出係数(t CO₂/kWh)

②地下水循環利用

- ・CO₂削減量(tCO₂/年)=年間予想CO₂削減量×稼働月度生産量(t)／年間稼働生産量(t)

③ごみゼロ化

- ・CO₂排出削減量(t CO₂/年)=廃棄削減量(t/年)×廃棄(焼却)CO₂排出原単位(t CO₂/t)
- ・CO₂排出増加量(t CO₂/年)=電力単位(kWh)×稼働時間(h/年)×電力CO₂排出係数(t CO₂/kWh)

④再生原料化

- ・CO₂排出削減量(t CO₂/年)=購入削減量(t/年)×購入原材料CO₂排出原単位(t CO₂/t)

c. 環境認証の種類および取得ランク(建屋)

CASBEE(建築環境総合性能評価システム) A取得

(2) グリーンビルディング(江南工場 事務所棟)



a. 環境認証の種類および取得ランク

- BELS(建築物省エネルギー性能表示制度) 最高評価 5 つ星 取得
 - ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング) 認証 取得
- ※一般社団法人 環境共創イニシアチブにより、「ZEB リーディング・オーナー」に登録

※建物の概要、具体的な仕組みについては以下をご覧ください。

<https://www.gunze.co.jp/corporate/news/2023/03/20230313001.html>

以上